タイムテーブル
第 26 回日本水環境学会シンポジウム（2023 年 9 月 20−21 日）　@大阪大学吹田キャンパス

	会場名	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
	講義室名	M1-311	M1-313	U2-311	U2-312	R1-212	R1-213	R1-214	U3-211
20日	09:00〜12:30	シン・膜ロカ〜膜の進化と新展開〜（膜を利用した水処理技術研究委員会）	島しょ域における水環境の現状・課題と対応（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）		流域物質動態の解明につながるデータサイエンス（流域物質動態とノンポイントソース研究委員会）		設立 35 年目の展開図（口頭発表）（微生物生態と水環境工学研究委員会）	設立 35 年目の展開図（ポスター発表）（微生物生態と水環境工学研究委員会）	若手研究紹介（オルガノ）セッション（博士研究奨励賞発表審査）
	昼休み 12:30〜13:30								
	13:30〜17:00	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術（電気化学的技術研究委員会）	環境再生保全のための水循環および資源循環における高度化適正方策（生物膜法研究委員会）	プラスチックおよびその由来物による環境リスク（評価の課題と展望）（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）	地域からの発信〜持続可能な水環境づくり〜（地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会）	土壌汚染対策法施行から20年，土壌地下水汚染問題に対する最新研究動向（土壌地下水汚染研究委員会）	農業・農産業の持続可能性に貢献する水環境研究とは（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）	身近な生活環境に潜む危険の共有と将来に向けた生活者としての対策と実践（身近な生活環境研究委員会）	水環境と薬剤耐性：ワンヘルスアプローチの現在地（水中の健康関連微生物研究委員会）
21日	09:00〜12:30	湿地・沿岸域研究の最前線と大阪湾のいま（湿地・沿岸域研究委員会）	嫌気性生物反応における微生物解析技術の最前線（嫌気性微生物処理研究委員会）	紫外線を用いた水処理技術の最前線（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）	マイクロプラスチック研究の最前線（マイクロプラスチック研究委員会）	水圏を巡るホットな話題と汽水域（汽水域研究委員会）	MS 技術と環境微量化学物質（口頭発表）（MS 技術研究委員会）	MS 技術と環境微量化学物質（ポスター発表）（MS 技術研究委員会）	持続可能な社会に向けた水処理・資源回収技術（産業排水の処理・回収技術研究委員会）
	昼休み 12:30〜13:30								
	13:30〜14:10								年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演
	14:30〜16:40								特別講演
	17:00〜17:30								表彰式・閉会式